

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

◎ 事業所概要

企業名:国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

代表者氏名:学長 浅野 哲夫

所在地:能美市

業種:大学・研究施設等

労働者数:334人

◎ 行動計画

1 計画期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日

2 内容

目標1 子どもを育てる労働者が利用できる短時間勤務制度の実施

目標2 育児・介護休業法に基づく育児休業や時間外労働・深夜業の制限、雇用保険法に基づく育児休業給付、労働基準法に基づく産前産後休業など諸制度の周知

目標3 所定外労働の削減のための措置の実施

◎ 目標達成の状況

目標1 平成26年4月1日より、育児部分休業の対象となる子の範囲を3歳未満から小学校就学の始期に達するまでに改正・施行

目標2 「本学の規則における育児・介護支援制度の概要」、事務マニュアル「人事関係―出産を予定している時」を作成するとともに、大学内のホームページに掲載し、産前休業予定者に配布・周知

目標3 「勤務時間管理に関する事務取扱要領」の策定や職員・所属長に対する勤務時間管理についての研修、勤務時間の管理監督者の会議での勤務時間管理の徹底及び所定外労働時間の縮減についての理事から指示を行うことにより、所属長が所定外労働の事前命令を実施し、業務の適正配分と計画的な遂行をマネジメントした

◎ その他の取組の状況

・年次有給休暇取得促進のための措置として、夏季休暇及び夏季一斉休業と併せて年次有給休暇を取得することを推奨し、計画的利用を促進

大学からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

行動計画の実施に当たっては、職員全員が働きやすい環境の整備に資するため、年次有給休暇の取得推進や所定外労働の削減に力を入れました。

仕事と育児・介護との両立を支援するための諸制度は整備されていますので、今後は、更なる制度の利用促進に向けて、職場の雰囲気づくり・意識啓発を行いたいと考えています。

○ 育児休業を取得した男性職員の声

子どもと一緒に過ごす時間をまとめてたくさんとることができました。休業取得による業務負担について、同僚の理解と協力に感謝しています。ただ、妻の負担を軽減できるところまで担えたかどうかは自信がありません。そういう努力の必要性を再認識する機会となりました。